

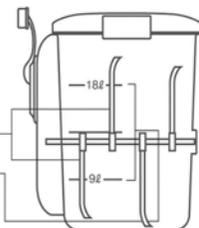
各部の名前と働き

- **ふたワク**
チップ材の交換のときなどに
とりはずします。
- **ハンドル**
使用時にまっすぐに
起こしてかかはんします。
普段はおりたたんで
収納できます。
- **フロントカバー**
ギヤの保護カバーです。



- **回転ふた**
ゴミの投入時に開閉します。
- **ふた排気口**
水蒸気と炭酸ガスが排出されます。
- **ストッパー**
ふたワクを固定します。
- **プッシュボタン**
回転ふたを開くときに押します。
- **本体すべり止め**
操作するときに本体を固定し、
摩擦による床面の傷を防止します。

- **かかはん羽根**
ゴミとチップ材をかかはんし、空気をとりこむ
働きをします。ハンドルを回すと回ります。
- **チップ材の目安9ℓ・18ℓ**
チップ材の目安になる目盛りです。18ℓ目盛は
通常使用時の目安、9ℓ目盛は交換時の目安になります。



保証とアフターサービス

- 保証書の内容のご確認と保管のお願い**
必ず「販売店印及びお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの
販売店から受け取り、内容をお読みのうえ、大切に保管ください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です**
- 修理を依頼されるとき**
(保証期間中)
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理させていただきます。
(保証期間を経過しているとき)
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が壊れる場合
は、お客様の要望により有料修理させていただきます。
●販売店にご依頼にならない場合には、当社の相談窓口にご連絡ください。
- 補修用修理部品の最低保有期間は製造打ち切り後2年です**
修理部品とは、その製品の機能を維持するためには必要な部品です。
- 製品が不要になった場合**
ご希望であれば、不要になった容器本体を当社にて有償でお引き取
りします。詳しくはお問い合わせください。
- 上記の内容についての詳細や、贈答・転居の場合など、
その他、製品に関するお問い合わせは、お買い上げの販
売店、または下記の相談窓口までご相談ください。**
- 交換用チップ材・別売品は下記連絡先のほか、弊社ウェ
ブサイトからもご注文いただけます。**

主な仕様

製品名 / 型式 (JANコード)	自然にカエルS (エス) / SKS-101型 (4546974000135)
エコマーク認定	 エコマーク認定商品 ごみを減らす 認定番号 13 125 001 製造元 / (株)エコ・クリーン 登録情報詳細 (公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局) http://www.ecomark.jp/ecomarkdb/13125001.html
外形寸法	幅 42.8 × 奥行 34.0 (32.5) × 高さ 41.8 cm ※()内 ハンドル収納時 / 回転ふたを開いた時の高さ 68.0 cm
質量 (重量)	本体 4.5kg
材質	ポリプロピレン(本体)
設置場所	屋内専用タイプ(台所)
処理方法	微生物分解処理方式(低温分解)
処理能力	1日あたり700g
かかはん方法	フタを閉じ左右12回回すつ手動でかかはん(朝と夜) 4~5ヶ月に1度 1/2量ずつ (生ゴミの主な内容や投入量によって異なります)
チップ材交換の目安	初期用チップ材・きんちゃく袋(不織布製) ふたカバー(不織布製)・底敷ブロック ほか
付属品	初期用チップ材・きんちゃく袋(不織布製) ふたカバー(不織布製)・底敷ブロック ほか
別売品	交換用チップ材 エコパワーチップ(8W) ECS-121型 (JANコード:4546974000029) (エコパワーチップ8リットル×2袋入) カエルの便利パック ECS-150型 (JANコード:4546974000791) (エコパワーチップ8リットル×1袋、不織布製きんちゃく袋×1枚、 ふたカバー×1枚、特製シャベル×1個、交換日付ラベル×1枚)

エコ・クリーン ウェブサイト <http://www.ecocleanjp.com>

⚠ お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。
絶対にしないでください。



故障の修理・製品に関するお問い合わせは下記まで
開発・製造販売
株式会社 エコ・クリーン
〒596-0003 大阪府岸和田市中井町三丁目22番1号

交換用チップ材もこちらからご注文いただけます。
<http://www.ecocleanjp.com>
TEL.072(441)2405 FAX.072(441)2404
E-Mail:info@ecocleanjp.com

室内型家庭用生ごみ処理機

エス

自然にカエルS SKS-101型

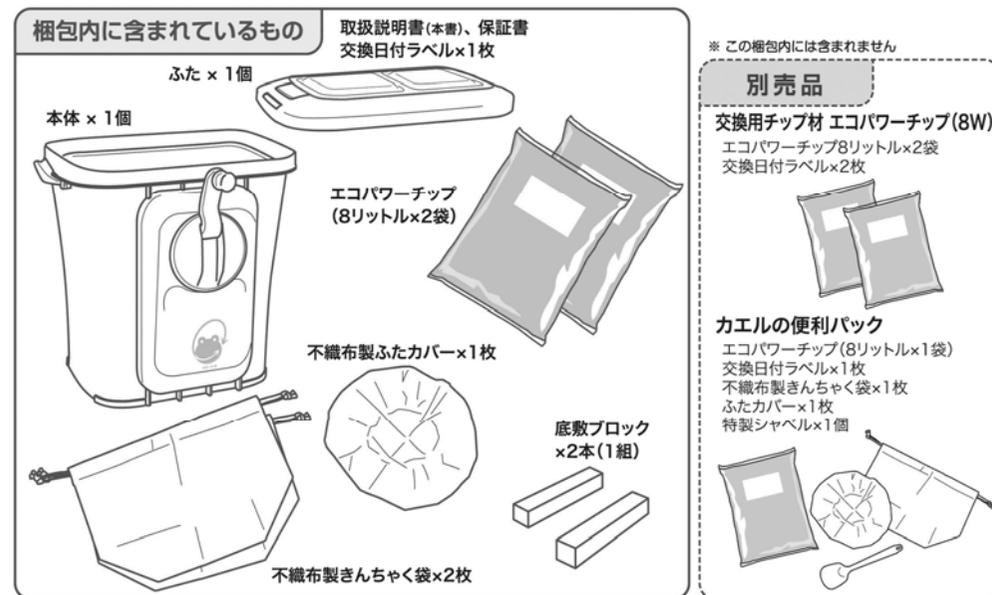
取扱説明書

このたびは、当社の生ごみ処理機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに必ず大切に保管してください。

※本製品は、生ゴミを「腐敗・乾燥」によって減量させるのではなく、有効微生物群の活動によって有機物分解させ、「減量・減容処理」をします。

付属品の確認

本体と付属品がセットされていますので、すべての付属品が揃っていることをご確認ください。



設置場所について

屋内設置が原則です。

- 屋内の風通しのよい場所に設置してください。
- 屋内の水平で安定した場所に設置してください。
- 高温・多湿となる場所は避けてください。

ニオイが気にならないので、
キッチンがおすすめです。



- 注意**
- 常時直射日光が当たる場所や、雨のかかる場所では使用しないでください。
 - 本体の上へのぼったり、腰かけたりしないでください。
 - 夜は空気の流れが停滞するため、室内にニオイがこもることがあります。
気になる場合は、換気扇を使って換気してください。

エコパワーチップの微生物くん

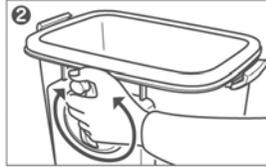
※ 平常運転時にはチップ材から微生物以外の害虫(ダニ)やカビなどが発生することはありませんが、設置環境にもともとわずかに生息していたり、別の場所から運ばれてきたダニやカビ菌などが処理機の温度をたよって繁殖する可能性があります。設置場所についての注意をお守りいただいた上で、ダニやカビの発生時には適宜案内の対処法を実施してください。



ご購入後初めてのセット、またチップ材の交換時はこちらをご参照ください。

チップ材のセット方法

- ① 本体にエコパワーチップ8リットルを2袋(16リットル)とコップ2杯程度の水を入れる
※交換時は中身が適切な量になるよう、入れる量を調整します。
- ② 良く混ぜり合うように出来るだけ多くハンドルを右左に回してかくはんしてください。



使用日 年 月 日
交換時期 年 月 日

※付属の交換日付ラベルにチップ材のセットした日付と4ヵ月後の日付を記入して本体やふたのどこかに貼っておきましょう。(交換時期のめやすになります。)

使い始めのご注意

- 使用開始から1週間は、生ゴミの投入量をひかえめに。
使用開始から1週間は微生物が正常に活動していない時期です。生ゴミを入れ過ぎると、ニオイが強くなる場合がありますが、異常ではありません。これは、微生物が活動を始めたばかりの段階で、しばらくすると、ニオイはおさまります。
- 使い始めは、ニオイの強い生ゴミの投入はひかえてください。
例えば、魚介類のアラ、ニンニク、タマネギ、腐りかけの食品など。これらの生ごみは、使い始め1週間を超えても1度に大量に投入せず、何回かに分けて投入しましょう。(チップ材にニオイがうつります。)特に使い始めには、チップ材がニオイを吸収しやすくなっていますので注意が必要です。

毎日の使い方

1日に投入できる生ゴミの量は 約**700g**
3~4人家族1日分を想定
三角コーナーおよび1杯分

1日の投入量が700gを超えると、分解状態が悪くなり、ニオイの原因になったり、チップ材の寿命を縮めます。

- ① ふたを開ける
ボタンを押して開けましょう。無理に開かないように。
- ② 生ゴミを投入する
- ③ ふたを閉める
かくはんは必ずふたを閉じた状態でしましょう。
- ④ ハンドルをまわしてかくはんする
生ごみを入れない日でも、毎日右と左に各12回以上ハンドルをまわしてください

※容器に手をいれたまま回転させないように注意してください。

②

- ★ 水分をよく切ってから投入
- ★ 毎日2回以上(朝・夕)しっかりかきまぜる
- ★ 量が多い日は、投入量を前後で調整
- ★ 分解しやすいように生ごみにひと工夫
生ごみはできるだけ細かくしたほうが分解が早いです。また、生ものよりも火が通ったもののほうが分解しやすいです。



これなら大丈夫。分解が順調なときは...
チップ材がほんのり温かくなり、水分をよく発散するので、湿度の高い時期にはふたのワラや本体内部がうっすら水蒸気でもったりします。
気温が高い時期は分解が早く、低い時期は比較的遅くなります。
国内の一般家庭の室温の範囲であれば問題なく動きますが、寒冷地でご使用の場合や冬季には分解が遅くなる場合があります。
別紙「完全保存版 自然にカエルSの上手な使い方」をご参照ください。

※注意
ハンドルを無理にまわさないで

生ごみの投入を続けていくと、チップ材の水分量が多くなり、ハンドルの回転が重くなる場合があります。このような時は、無理に力を入れず、何度か逆回転させながらゆっくりと回してください。無理に回転させますと、故障の原因となります。また、かくはん羽根に野菜くずなどがからみついている場合は、割りばしなどで落としてから回転させてください。

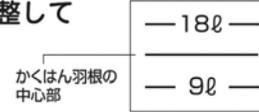
※このとき、容器に手をいれたまま回転させないように注意してください。

チップ材の点検

<チップ材の量>

チップ材は、生ゴミの種類、投入量、その他の条件によって、量が増減する場合がありますので、ときどき、処理槽内の量の表示マークを確認してください。

チップ材は18ℓラインの範囲内で調整してください。



チップ材の交換

チップ材は4~5ヶ月に1度、交換することで弱ってきた分解力を戻すことができます。

準備

交換用チップ材セット1回分(エコパワーチップ(8リットル)x1袋)
きんちゃく袋、手袋(ケガ防止のため)
スコップなど
新聞紙など(下に敷くため)

- ① 古いチップ材を取り出す。
新聞紙などを敷いた上に、きんちゃく袋を置き、口を大きくひろげて、チップ材を取り出して入れます。
通常(1/2量)交換のとき
古いチップ材を内壁の目盛を参考に9ℓラインまで取り出す
全量交換のとき
古いチップ材をすべて取り出す

取り出したチップ材は、再利用することができます。

取り出したチップ材は保管・養生させることで3~4回再利用できます。
※詳しくは、別紙「きんちゃく袋・底敷ブロックの使い方」を参照してください。

再利用を数回繰り返して、分解能力の低下したチップ材は、有機肥料の原料としても有効に活用できます。
そういった機会がない場合には、最終的に「燃えるごみ」として処分可能です。
※処分するときは充分水分を拡散させてから、地域のルールに従って自己責任で処分してください。

- ② 交換用チップ材を入れる。
通常(1/2量)交換のとき
別売品「交換用チップ材 エコパワーチップ8W」(8リットル)x2袋のうち、1袋分(8リットル)を入れる。18ℓラインが目安です。
全量交換のとき
古いチップ材をとりだした後、槽内を水洗いしてください。よく乾燥させてから、前項のチップ材のセット方法と同じ要領で交換してください。
- ③ セットが終わり次第ゴミを投入できます。

※注意
チップ材は、必ず専用のエコパワーチップをお使いください。



③

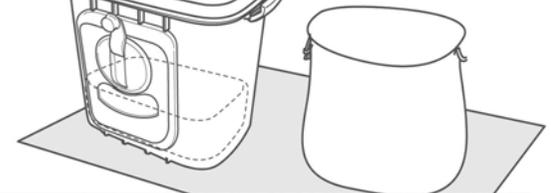
チップ材が「18ℓ」を超えた場合

- 2~3日、生ゴミの投入量を減らしてください。
- それでもチップ材の量が減らない場合は、スコップなどで「18ℓ」ラインまで取り出してください。

チップ材がかはん羽根の中心部を切った場合

- かくはん羽根の中心部から18ℓラインの中間位置までチップ材を補充してください。

★ 未分解の生ごみは選り分けて処理機の中に戻します。



※注意
通常(1/2量)交換のとき、古いチップ材と新しいチップ材がよく混ぜり合うよう出来るだけ多くハンドルを左右に回してかくはんして下さい。

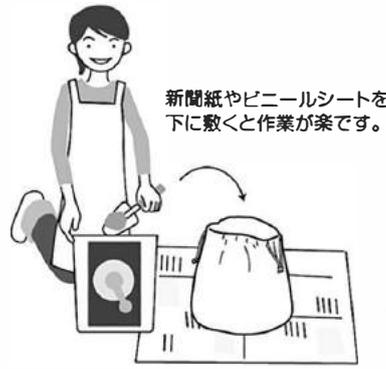
古いチップ材は水分量が多い為、新しいチップ材とからめた場合に、ダマ状・ダンゴ状のものが出来てしまいます。
よくなじむように手袋などをして、ダマやダンゴをほくしながらいいいに混ぜてください。

※このとき、容器に手をいれたまま回転させないように注意してください。

きんちゃく袋・底敷ブロックの使い方

チップ材交換のときに

処理機の横に新聞紙などを広げ、その上に巾着袋を置き、シャベルで処理機内のチップ材を取り出します。



直射日光のあたらない、風通しのいい場所で保管します。

ふたカバーをかけて虫の侵入を防ぎます



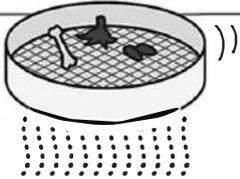
かたまってしまったチップ材はもんでほぐします。



底敷ブロックに載せて地面との間に隙間をつくり、空気を通しやすくします。

チップ材の水分を除くときに

処理機内の半量または全量を巾着袋に取り出し、右の図のように水分を発散させてください。ときどき巾着袋ごと転がすように揉みほぐすと、ダム状になったチップ材がほぐれて湿気が抜けやすくなります。



交換時に取り出したチップ材の活用方法

交換時に取り出したチップ材を3~5mm目程度の園芸用の金網でフルイにかけて落ちた物を巾着袋に入れ、雨があたらない風通しのいい場所に保管しておきます。

おすすめ!!

交換用チップ材として再利用する場合

適切に保管し、3ヶ月ほど十分に養生させた使用済みチップ材は、次回交換時に処理機に戻して再利用することができます。

使用中(微生物が活発に働いている)のチップ材とよく混ぜてなじませることで、保管中一時休眠状態だった微生物が再び動きはじまります。

有機肥料の原料として使う場合

使用済みチップ材が1に対して土が4の割合でよく混ぜあわせたあと、陰干しで二週間から三週間程度、よくなじませてからお使い下さい。



陰干しでよくなじませる。

チップ材を上手に保管して、経済的に再利用しましょう。



エコパワーチップの微生物くん

鉢植えて使う

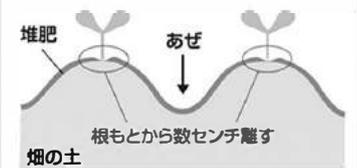
鉢植えの土の部分に、幹から数センチ離して幹を取り囲むようにまいてください。



根もとから数センチ離す

畑で使う

植物の根もと部分の幹から数センチ離して、全体に均等な厚みになるようにまいて下さい。



根もとから数センチ離す
畑の土

ふたカバーの使い方

処理機の内壁やフタの裏に水滴がつく時 夏場の気温が高い時

チップ材が活発に働いている証拠ですが、放っておくとチップ材が湿ってしまいます。

こんなときは本体のフタを外し、かわりにふたカバーをかけてお使いください。

処理機を日光浴させる

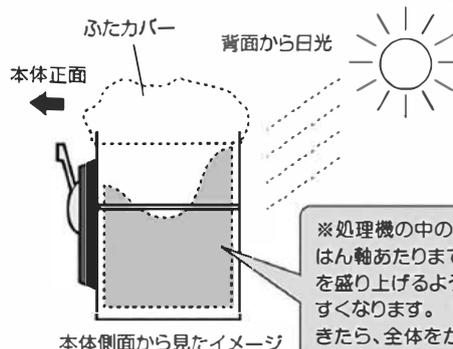
チップ材の湿気を除くための簡単な方法として、天気の良い日に処理機のふた部分を取り外し、ふたカバーをかけて本体の背面(回転レバーのついていない方)を日光の方に向けておきます。

小さな虫の侵入が気になるとき

本体のフタをはずし、かわりにふたカバーをかけてお使いください。



本体のフタ部分は取り外しておきます。



※処理機の中のチップ材は中心部をかかはん軸あたりまで攪り、内壁側にチップ材を盛り上げるようにすると水分が抜けやすくなります。チップ材の上が乾燥してきたら、全体をかかはんし、下のチップ材を上にもってくるようにしてください。

完全保存版 自然にカエルSの上手な使い方

生ゴミ投入の際 生ごみの水はよく切って投入してください。

生魚や内臓などを入れると、分解がおおよそ終わる約36時間ほどの間、軽く臭うことがあります。基本的に、火で調理した食べ物にくらべて、野菜など火を通していない食べ物は分解が遅くなります。水気が多い食べ物（果肉のたくさん残ったスイカなど）は投入を控えてください。

よくしぼって



処理機のしくみは、人で例えると胃袋と同じ。体調によって食べる量を調節するようにしてあげることが大切です。常に体調を良好に保てれば、食欲もわき、より効率よく処理できるのです。

※ 野菜ばかりを多く投入してしまっている場合は、米ぬか、もしくは使用済みの天ぷら油をコップ一杯ほど入れてかきまぜてやると、チップ材が活発に活動しはじめます。

かくはん・毎日の世話 とにかくよくかきまぜましょう(生ごみを投入しない日もかかさず)

取扱説明書でご説明している「一日2回、1回につき右・左方向にそれぞれ12回ずつハンドルをまわす」というのは、通常、最低限必要な運用方法です。

もっと上手に、効率よく使いこなすためには、できるだけたくさんかくはんしましょう。

また、割り箸や棒などを使って、時々上下方向にチップ材をかき回したり、混ざりにくい隅の方や、チップ材のかたまりになっている部分を崩したりするのもたいへん効果的です。



- かくはんを多くすれば、分解はより促進されます。
- 常にチップ材をサラサラに保っておくことが大切。
- 時には「ハンドルの回転」以外にも中身がよく混ざり合う工夫をしてみましょう。

季節ごとの世話 蒸し暑い時期は水分にご注意。寒い季節は分解が遅くなります。

国内の一般家庭での室温で使っている限り、一年を通してほとんど安定して使っていただけます。

しかし、梅雨時の湿度が多い季節には水分が発散しにくいので、定期的にチップ材を巾着袋に入れて干したり、また寒い時期は分解が遅くなるので、設置場所を温かいところに変えてみたり、本体を布や段ボールでおおって保温したりすると効果的です。

分解できるもの 基本的に人間が食べて消化できるものは分解されます。

チップ材の動きはヒトのお腹の中に似ています。

バランスの良い食事で、体調を整えてあげるのが上手に使うコツです。

		肉・魚類 など動物性の肉類
		ペットのえさ (キャットフード・ ドッグフード・ 鳥のエサなど)
		おかし類 ※ガムなど一部は×
		ごはん めん類 パン類
		野菜 くだもの
		※生野菜
		生花
		茶がら・ コーヒーかす
		鶏や魚の骨、 カニやエビの カラ
		卵のカラ

調理・加熱した肉や魚の身、野菜
好んで活発に早く分解します。
生の肉や魚の身

調理したものに比べて分解が少し遅くなります。
生魚などを入れた場合はしばらく臭いがすることがあります。
一度湯におしてから、細かくきざんで投入など工夫するとよいでしょう。

主な調理済み生ごみの投入のコツ

- 酢の物はよく洗って酢を落としてから入れてください。
- 鶏や魚の骨、カニやエビのカラなどは、小さく砕いてくと分解しやすくなります。
- 残飯・めん類は、できるだけ他のものと一緒投入することで分解しやすくなります。
- カレーやシチューなど粘り気があるものは、三角コーナーで水洗いして水をよく切ってから。
- ミカン類や豆類の皮、卵やエビ・カニのカラ、鶏や魚の骨、各種タネ類、鳥のエサなどは、分解しにくく時間がかかります。
- 生の野菜類は、加工してあるものに比べて分解しにくく、時間がかかります。できるだけ小さく切る・一度湯通しする・よく水分を切る などして、一度にたくさん投入せず、小分けにして投入するようにしてください。

分解に時間がかかるものを連続して多く投入してしまっている場合は、上記の「生ごみ投入の際」のポイント部分を参照して、チップ材を活性化するようにしてください。

分解できないもの 基本的に人間が食べられない、消化されないもの。

内部にたまって故障の原因になります。

		プラスチック類・ ゴム類・ポリ袋 (ごみ袋など)
		牛や豚の 大きな骨
		貝殻類
		割ばし・ つまようじ・ 竹串
		金属類・ ガラス・陶器 (ビールのせんなど)
		たけのこや どうもろこしの皮

バクテリアが死ぬ原因になります。

		紙類・せんい類 (ティッシュペーパー やティーパークなど)
		タバコの 吸いガラや灰
		木の枝や落葉
		大量の 食塩や刺激物
		ガム・ 食品の乾燥剤
		クスリ・ 抗生物質類
		大量の油・牛乳・酒・酢・ しょうゆなどの液体、 大量のコーヒーかす

内部がベタつき、
ニオイの原因になります。